

4月18日(金)

在宅医療介護と地域連携の未来 10:30~11:00 セミナー第2会場(3号館内)

認知症看護認定看護師が伝えたい 認知症に関すること

みなさんは認知症についてどこまでご存じですか? 認知症について理解を深めることで、今までと少し見方が変わるかもしれません。また、認知症の方を介護している方やご家族にとっては、日々の精神的負担ははかり知れません。少しでも今後の手助けとなるようなお話をご紹介しますと思います。

西宮市立中央病院 患者総合支援センター 認知症看護認定看護師

村上 美千代 氏



持続可能な施設運営の為にできること 11:30~12:30 セミナー第2会場(3号館内)

ICT ツール・福祉機器を用いた職場環境整備について

当施設では、様々な福祉機器やICT ツールを利用者様の支援に使用しています。今後人員不足が著しい福祉業界で、やりがいを持ち健康で長く働き続けてもらえる職場作りについて発表いたします。

社会福祉法人甲山福祉センター 西宮すなご医療福祉センター 生活支援課 生活支援課 課長

宮野 紀子 氏



踏ん張る 特別養護老人ホーム

介護保険施行から四半世紀。特別養護老人ホームに求められる役割やその変遷、高齢者福祉について皆様といっしょに振り返りたいと思います。

社会福祉法人 甲山福祉センター 特別養護老人ホーム甲寿園 施設長

小林 浩司 氏



在宅医療介護と地域連携の未来 13:30~14:00 セミナー第2会場(3号館内)

地域の重度重複障害者の方々の生活と支援者を支えるための取り組み

地域の重度重複障害の方々の生活を支えるために地域で働くセラピストの役割と今後の課題や展望についてお話しします。多職種連携、テクノロジーを活用した支援の形を現場での実践例を交えながらご紹介いたします。

社会福祉法人 堺あけぼの福祉会 理学療法士

瀬戸 和隆 氏



トークセッション 14:20~15:50 セミナー第4会場(5号館内)

「介護の価値・生産向上に向けて、管理者がとるべき行動とは? ~これからの施設運営を考えるために必要なこと~」

利用者ファーストのための職員ファーストを叶える、7つのステップ

介護施設をもっと働きやすい職場にするため、「利用者ファーストのための職員ファースト」を叶える、7つのステップについてお話致します。

社会福祉法人 弘陵福祉会 特別養護老人ホーム 六甲の館 理事長・施設長

溝田 弘美 氏



『プチいら』解消のために取り組んでいること

介護の仕事は感情労働であり、ちょっとしたいらいら『プチいら』を感じながら仕事をしています。『プチいら』を解消するために取り組んでいることをお伝えします。多くの高校生や大学生がそれらを担ってくれています。

社会福祉法人 堺福祉会 ハートピア堺施設課 施設長

古川 英弘 氏



サービス向上と人材確保におけるマネジメント

重度障害者支援において「来る人拒まず」の姿勢を貫き、音楽療法など特色ある日中活動を提供するなど新たな投資と組織の改革を継続することで職員採用・定着へとつなげている当法人の取り組みを発表します。

社会福祉法人 希望の家 法人本部 事務局長

井原 義博 氏



25-03-003-1XX0017



第31回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展

バリアフリー-2025

第10回 看護サービスの新しいステージを目指す専門展

第15回 超高齢社会を支える慢性期医療の専門展

看護未来展2025 慢性期医療展2025

4月16日(水)▶18日(金)

10:00~17:00 (18日は16:00まで)

インテックス大阪

大阪メトロ南港ポートタウン線「中心頭駅」より徒歩5分

西日本最大級! 介護・福祉・医療・看護の総合展示会

https://www.tvoe.co.jp/bmk/

出展者数 約250社・団体 セミナー100セッション以上 開講!!

事前来場登録制 入場無料

事前来場登録をお済ませください。来場登録された際にお送りする来場者証のプリントアウトを忘れた方、当日会場での出力は、お待ちいただく場合がございます。



本展は 事前来場登録制 です。公式WEBサイトより「事前来場登録」をお願いします。

登録・入場方法

1 本展WEBサイトより事前来場登録を行ってください。

2 マイページから来場者証を印刷し、会場にご持参ください。

3 入場ゲートでホルダーを受け取り、来場者証を入れてご入場ください。



バリアフリー-2025 セミナー

4月16日(水)

大阪府・ユニバーサルな社会にむけての取り組み 10:30~11:00 セミナー第2会場(3号館内)

ユニバーサル社会の実現に向けて～障害者差別解消法の視点から～

大阪府では、ユニバーサル社会を実現する取組みの一環として、障がい者差別の解消を推進しています。本セミナーでは、合理的配慮など障害者差別解消法の内容を中心にご説明し、受講者には受講証明書を交付します。

大阪府庁
障がい福祉企画課



大阪府・ユニバーサルな社会にむけての取り組み 11:00~11:30 セミナー第2会場(3号館内)

大阪府における福祉のまちづくりの取組について

大阪府では、「大阪府福祉のまちづくり条例」を定め、誰もが出かけやすいまちづくり、使いやすい施設作りを推進しています。建築物のバリアフリー化をはじめとした福祉のまちづくりの取組についてご紹介します。

大阪府庁
都市整備部 住宅建築局
建築環境課



万博に向けての交通のバリアフリー 12:00~12:30 セミナー第2会場(3号館内)

交通バリアフリー化の取組みと大阪・関西万博

安全・安心・円滑に移動できる共生社会の実現に向けて国土交通省の推進する交通分野のハード・ソフト両面のバリアフリー施策や、大阪・関西万博に向けて障害当事者が参画した取組事例などを紹介します。

国土交通省近畿運輸局
交通政策部

ユニバーサルツーリズムにより街が変わる 13:00~13:30 セミナー第2会場(3号館内)

兵庫県におけるユニバーサルツーリズムの推進について

兵庫県では、年齢や障害の有無等に関わらず、様々な方が気兼ねなく旅行できるユニバーサルツーリズムを推進しています。受入体制の充実や情報発信、機運醸成等に向けた令和7年度の取組についてご紹介します。

兵庫県産業労働部観光局
観光振興課



ユニバーサルツーリズムにより街が変わる 13:30~14:00 セミナー第2会場(3号館内)

「誰もが楽しめる旅へ:京都バリアフリーツアーセンターが目指す未来」

京都バリアフリーツアーセンターが推進する、すべての人が楽しめる旅行の実現に向けた取り組みを紹介します。バリアフリーの重要性や具体的な施策、未来の観光地づくりについて考察し、誰もがアクセスできる旅の可能性を探ります。

一般社団法人
京都バリアフリーツアーセンター
代表理事



中村 敦美 氏

パラスポーツとユニバーサル社会 14:30~15:15 セミナー第2会場(3号館内)

パラスポーツとユニバーサル社会

東京パラリンピックは、たくさんのアクセシビリティを生み心のバリアフリーに好影響を与えました。障害あるひとが当たり前の生活を得ることスポーツをすることは、人権の保証であり、心豊かな社会づくりと連動します。

公益財団法人 兵庫県
障害者スポーツ協会
理事長



増田 和茂 氏

ユニバーサルな社会の為に目指すべきこと 15:45~16:30 セミナー第2会場(3号館内)

ユニバーサルな街づくりの為にアビリティーズが目指すこと

ユニバーサルとバリアフリーの違い。事例からみるバリアフリー化のすすめ。バリアフリーチェックの大切さ。など事例を中心に紹介します。

アビリティーズ・ケアネット株式会社
一級建築事務所 設計建築課
所長



末永 浩一 氏

4月17日(木)

50年後のバリアフリーの可能性と挑戦 10:15~11:45 セミナー第2会場(3号館内)

航空機のバリアフリー化に向けた取り組み

JAXAでは、航空機を利用する全ての人々が、負担なく快適な空の旅を楽しめる未来を目指して、航空機のバリアフリー設備に関する研究開発を進めている。航空機のバリアフリー化の課題と解決案について紹介します。

国立研究開発法人 宇宙航空
研究開発機構 (JAXA) 航空
技術部門 航空安全イノベー
ションハブ 主任研究開発員



安岡 哲夫 氏

オシャレのバリアフリーを目指して~大阪・関西万博 2025 に挑戦~

大阪・関西万博 2025 のEXPO ホールで世界最大規模の未来のおもつコレクションを開催します。人種、年齢、性別、身体状況に関係なく、誰もがオシャレを楽しめる世界を目指した挑戦をご紹介します。

一般社団法人
日本福祉医療ファッション協会
代表理事



平林 景 氏

在宅医療介護と地域連携の未来 12:15~13:45 セミナー第2会場(3号館内)

災害支援の実際

~災害関連死をどう予防していくのか~

能登半島地震でのJRATの災害支援活動について、熊本地震や西日本豪雨災害での支援経験を交えながら解説します。また、奥能登での介護施設支援活動を紹介し、2講演から災害関連死予防の重要性について考えます。

社会医療法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院
西宮協立訪問看護センター
リハビリテーション科 部長

訪問看護管理者
勝谷 将史 氏



稲葉 典子 氏



在宅医療介護と地域連携の未来 14:15~14:45 セミナー第2会場(3号館内)

地域で生きたいねん!

~娘の思いと親としてできること~

人工呼吸器ユーザーの娘からの発信「やりたいことを諦めたくない」「障がいがあっても、医療的ケアが必要でも地域で自分らしく生きたい」障がいのある子にとっての自立とは、親として何が出来るか?

神戸市重度心身障害児(者)
父母の会
副会長



井関 宏美 氏

在宅医療介護と地域連携の未来 15:15~15:45 セミナー第2会場(3号館内)

ケアする人をケアするもの

「ケア」は計画的にはじめるのではなく、ある日突然はじまってしまうことが多いもの。介護ストレス、ハラスメント、虐待など複合化した課題を抱える現場で、ケアする人のケアについて、様々な出会いの中で教えてもらった実践知についてお話しします。

一般社団法人 Rights
Rights 福祉法務事務所
代表



西川 圭一郎 氏

持続可能な施設運営の為にできること 16:15~17:00 セミナー第2会場(3号館内)

テクノロジー等を活用した介護現場における生産性向上の重要性とその施策について

介護人材の確保が喫緊の課題とされる中で、サービスの質の確保を図りながら、介護現場の負担軽減や業務の効率化など、生産性向上の取組の推進による職場環境の改善は職員定着などの観点から重要な取組とされております。こうした取組を推進するための各種施策についてご説明致します。

厚生労働省 老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室
介護ロボット政策調整官



佐藤 修一 氏